



# 津南中等教育学校 同窓会報

第7号  
発行者  
津南中等教育学校  
同窓会  
Tel. 025-765-2062  
印刷 津南印刷商事



## 目標を実感

六期生 幹事長  
高橋美沙季

一昨年の四月、大学の入学式を終えたあの頃の私にはたくさんさんの夢があった。友達をたくさん作って、一人暮らしを満喫して、たまには映えるカフェ

なんか行っちゃったりして。だが二年間過ごしてみてもどうか。ありがたいことに数は少ないものの友達には恵まれているが、それ以外はからつきである。朝に弱い私は何とか遅刻しないように授業に行くのが精一杯、授業に出たら映えるカフェなんか行かず、もちろんタピオカに並ぶなんてこともせず直帰。学校にいるときは眠かったはずなのに、家に帰って夕ご飯を食べたらなぜか睡魔は消えて寝たくても全く眠くならないという怪奇現象が起きる。それで夜ふかしして翌朝寝坊、のループ。人間としてギリギリである。

こんな私を見かねたのか、昨春秋ごろ大学の友人が就活対策も兼ねて一緒に秘書検定を受験しないかと言ってきた。大学受験終わったと思ったら就活かよ、とやり場のない不満を抱えながらも、私は了承し勉強を始めた。そしてあつという間に月日は流れ、この原稿を書いている今日、受検を終えた。正直受検勉強にはなかなか時間をとれ

なかったが、久しぶりに私は「目標」というものを意識できた。そして、この「目標」に自分が強く支えられていたことも感じた。「目標」があったから早く起きて勉強できた朝もあった。これからの私は、これまでの私を反面教師にして「目標」をもって過ごしていきたいと思った今日だった。



## 津南学 地域活性化を目指す探究活動を通して

津南中等教育学校 校長 渡邊 治夫

同窓生の皆様におかれましては、お元気で御活躍のことと思います。日頃より本校の教育活動に物心両面にわたる御支援を賜り、感謝申し上げます。この三月には第八期生が入会します。新入会員をどうぞよろしくお願いいたします。

さて、文部科学省が公示した中学校、高等学校の新しい学習指導要領の実施が迫る中、全国の中学校、高等学校、中等教育学校等ではそれぞれ対応を始めています。学力というと「知識や理解」が重視されますが、「思考力・判断力・表現力」や「主体的に多様な他者と協働する力・学びに向かう力・人間性」を加えて、学力の三要素と規定しています。授業をはじめとする教育活動では、「主体的・対話的で深い学び」を取り入れ、学力の三要素をバランスよく育成することを目指しています。特に、高等学校段階（後期課程）では、今後「総合的な学習の時間」から「総合的な探究の時間」に変更となることを受け、教科横断的な探究活動を行い生徒の資質・能力の一層の育成に努めてまいります。

本校では、「総合的な探究の時間」実施に向け、現四年生、五年生が試行的に総合的な学習の時間で、探究活動を行っています。四年生では、クエストエデュケーションと呼ばれる教育プログラムに参加し、四〜五人でグループを編成し、実在する企業から出された課題の解決策を考え、協働してその企業に提案する活動を行ってきました。

また、五年生でも四〜五人でグループを編成し、十月から地元津南町の課題を見つけ、それを解決するための方策を探る活動・名付けて「津南学」に取り組んできました。津南町職員による講話、大学教授による指導を受けるなか、去る一月末に、各グループがまとめた津南町地域活性化プロジェクトの発表会を校内で実施しました。審査員として津南町教育長、総務班長、指導を受けた大学教授をお招きし、各グループは三分の制限時間で人口増加や農業振興、町民の交流による活性化などを目指したユニークなプロジェクトを次々に発表しました。人口問題では、町内の企業訪問や民泊をしてもらい移住のきっかけにするアイデア。農業関係では、専門学校を設置したり、ニンジンや大根、白菜を雪に詰めて販売したりするアイデア。町民の交流による活性化では、「物々交換ファミリーマーケット」を開催。商品の管理はQRコードで行うが、物々交換による直接の触れ合いで町民が家族のように親密になれる効果がある。将来的には町外にも広がる活性化に繋がるなど生徒ならではの提案が行われました。私もその場で生徒の発表を聞きながら、発表の根底には津南町を愛し大切に想う気持ちが溢れていると感じました。

結びに、春まだ遠い津南の地より、同窓生の皆様の益々の御健勝と御活躍を、また同窓会の一層の御発展を祈念しております。

## 時間発展の途中経過

一期生 小林 洋祐

中等を卒業してほぼ七年経ち、高時代よりも長い時間を過ごしたことでなってしまう感慨が深いですが、こうして原稿を書いていると改めて書くことが思いつかない。普段六百字程度の文章を書く機会といえば、何かの研究会に申し込む（注：大学院生なので）際に発表の要旨を書くときくらいだ。同窓会報に何か書けと言われてまず困った。

一期生ともなると中等時代がもはや大昔なのだが、そう感じるのは時間のせいというよりも、いまの関心事が当時のそれとあまりに隔絶しているからだと思う。僕はいま博士一年で、やっている研究のこととか、自分の専門（注：物理学専攻である）で勉強したいことや考えたいこと、果ては博士号を取ったあとにどんな職につくかといったことに頭を悩ませる日々である。学部・修士課程での経験の結果としてのいまだが、思い返すと中等の頃にやっていたことや興味をもってしたことといまのそれらとの重複部分があったよりかなり少ない気がする。何というか人生はわからないという感

じだ。

しかし、そのように経験の作用で人間が変わるとするのは面白いと思う。地元にはいた頃はとにかく変化に乏しかった気がする。それは受け取る情報量が甚だ貧しかったということもあるし、その必要に迫られなかったということもある。いまはそれなりに迫られており、今後も自分の時間発展から目が離せない。同窓会報っぽく若い人たちへのメッセージ的なものがあるとなれば、それは人は思ったより変わるよということになるのだろう。



# 出会いと繋がり

二期生  
涌井 稜

私は現在、津南町役場の職員として働いています。元々、大学を卒業したら津南町で就職をしようと考えていた私の夢が実現となり、今も充実した日々を送れているのは中等時代から始まる出会いがあったからだと思えます。

その中でも、六年間続けてきた部活はその後の私にとっても特別な日々だったと言えます。私はサッカー部でしたが、部員も少なく決して強いとは言えませんでした。しかし、部活では仲間とのコミュニケーションを大切にしながら、練習の中で精神力や忍耐力を身に付けることができました。

卒業後は保育系の大学に進み、幾度となく現場での実習を重ねてきましたが、現実の厳しさを思い知らされることもありました。しかしそんな時でも諦めず、四年間やり遂げられたのはサッカー部で培った力が大きかったからだと自負しています。

最終的に私は社会福祉士という資格を取り、今は困難を抱えた住民と直接関わる仕事に携わっています。小さい町といえども様々な考えを持った人たちも多く、一人で悩んでしまうことも

時々あります。そういった時にはかつての同級生と食事に行ったり、旅行に行ったりして気分を晴らしています。

中等から現在に至るまでにおいて共通して言えるのは、どの時期にも貴重な出会いに恵まれたことです。中等はもちろん、大学の先生も毎年津南に来てくれるなど、改めて自分がたくさんの方から支えられていると実感します。これからも出会いだけで終わらない繋がりを大事に生きていきたいです。

# 夢の実現

三期生  
鈴木 明彦

中等を卒業して早いもので五年の月日が流れました。私は中等を卒業して看護師の専門学校へ進学しました。専門学校を卒業し現在は長岡市内にある総合病院の消化器外科病棟に勤務しています。看護師として働きだして間もなく三年目に入ろうとしています。働き始めてからは良いことばかりが続くわけではなく、朝早くから夜遅くまで働いて、夜勤もあってなんて辛い仕事を選んでしまったんだと後悔したこと

もありました。その中で自分を励ましてくれるもの、活力になってくれるものは何だろうと考えてみました。患者さ

んが望んでいること、求めていることは一人一人皆違います。一人の患者さんのためにできることは何なのかを考え、日々のケアを行っています。私にとっての喜びは患者さんが笑顔で退院していくこと、自分が行ったことに対して「ありがとう」と感謝の言葉をかけてもらえることだと思います。

これらのような喜びを日々感じながら今では看護師という仕事を選んでよかったと感じています。中等の学校目標である「夢の実現」。まさに私は自分の夢が実現しました。中等に在学した六年間の経験や思い出は一生の宝になります。夢の実現に向けて粘り強く努力していくこと、周りの人への感謝の気持ちを忘れないことの大切さをそんな経験の中から教えてもらいました。これからもさらなる夢の実現に向けて感謝の気持ちを大切に日々努力を重ねていきたいと思えます。



# 母校での教育実習を通して

三期生  
鈴木 諭

津南中等教育学校を卒業してから間もなく五年の月日が経過しようとしています。最近箱根駅伝を見ていた際にランナーが全員年下であることに気づきショックを受けた私、鈴木が二年連続で会報の執筆を務めさせていただきました。

それはさておき、今年度母校関連の出来事で自身の中で最も大きいものは津南中等教育学校での教育実習でした。今回はこの場を借りてこれを振り返っていきこうと思います。

昨年のゴールデンウィーク明けから約一ヶ月間津南中等教育学校で教育実習を行わせていただきました。五年前にはまさか自分が教壇に立つて勉強を教えることになるとは思いませんでした。思い返しても何とも言えないような不思議な気持ちになります。

私は高校生物の授業をメインで持たせていただき、多く経験を積ませていただくなかで、幼いころからの夢である教員という職業に少しずつでありながら近づけている実感を得ることができたように感じます。能力的に未熟な



ところばかりで多くの方に助けていただくことで乗り越えた実習でしたが私自身心から津南中等教育学校で実習を行えてよかったですと思っています。実習を通して支えてくださった多くの方々本当にありがとうございます。いつになるかはわかりませんが、いづれは教員として地元に戻りこの恩を少しずつでも返していけたらと思います。

## 自分のルーツとこれから

四期生

阿部 将太

一時間と二十分。東京駅から、新幹線で越後湯沢駅まで帰る所要時間だ。大学の友人に話すと、「東京から新潟って意外と近いんだね」と言われる。遠いようで近い。東京で一人暮らしをしている自分にとっても、地元との距離感はその感じかもしれない。

津南中等で過ごした六年間は間違いなく私の財産であり、学生時代に得た経験は木の根のように今の私を支えている。中でも、英語の授業やニュージールランドでの語学研修をきっかけに海外に興味を持ち、「世界を舞台に仕事したい」と思うようになったことは、私の人生に大きな影響を与えた。大学では国際関係を学び、一年次の夏にはアジアを旅して様々な国に暮らす人々の文化に触れた。そして、世界を舞台に仕事をするためにかねてからの夢で

あった外交官を目指すことを決意し、三年次からはその為の勉強に明け暮れた。

今も地元に戻れば、津南中等で共に過ごした仲間達と会うことができる。近所に住む方々が昔と同じように声をかけてくれるのも嬉しい。念願が叶い、これからは日本を離れて過ごす時間が増えるが、どこに住んでいてもふるさととは「遠いようで近い」場所として私を支えてくれる。私もそんなふるさとで育ったことに誇りを持ち、自分のルーツを忘れずに生きていきたいと思う。

## I am “ ”

四期生

市村

望

女らしく、可愛らしく、流行に乗り遅れないように周りと同じような服やメイクを追いかけて、恋愛・バイト・飲み会と、ほんの一瞬の楽しさにお金を浪費する大学生活。自分の夢のため

にと、要領よく単位を修得しデキる存在になるために学ぶ大学生活。こんな生活が本当に楽しいのかと疑問に思うようになったのは、昨年のアメリカ留学を経験してからだった。

知らない土地で多くの人に出会い共に学び過ごす中で、彼らと私の間にあるたくさんの違いを知った。人種も言語も、もっている文化も違う。でも、それ以上に違っていたのは、彼らは「自分」を持っていたことだった。周りに流されず、服装もメイクも自分に似合うものを選び、自分の考えや意見を堂々とすることが出来る彼らは、周りに合わせようと必死に頑張る私に、「ありのままがいい」と教えてくれた。あの日から私の中で何かが変わった。

帰国して一年が経つこの春、私は大学を卒業する。教員に憧れて進んだ大学ではあったが、より自分らしくあるためにと考え教員とは別の道に進むと決めた。中等生の頃の私は、周りから認められ、必要とされる良い人になることを追い求めることで必死だった。当時の私にはわからなかったが、何



のために？と思う学びや経験には、「自分」と向き合い本当の自分を見つける時間や機会があった。少し時間は経ってしまっただが、留学を経て私は「自分」と出会うことができた。これからは「自分」を大切にありのままのままだいこうと思う。「自分」に出会わせてくれた人たちへの感謝を胸に、今日も私は「自分」であり続けている。

## 夢をあきらめないために

五期生  
桑原 佐季

津南中等を卒業し、大学に進学してからもうすぐ三年が経とうとしています。私にとってこの三年間は自分の将来を深く考える大切な期間になりました。

私が通う薬学部は、二年時に六年制で薬剤師免許を取ることができる薬学科と四年制で主に研究職などに就く薬科学科の進路選択があります。薬剤師

として働くことを目指してこの大学に入学した当時の私はもちろん薬学科志望だったのですが、大学の講義で薬の開発に携わる方の新薬開発に対する熱い思いを聴き、研究にも興味を持つようになりました。

そのため、二年時の進路選択は本当に悩むものになりました。薬学科に進めば薬剤師になれるが、研究に割く時間が減ってしまう、薬科学科に進めば研究をたくさんできるが、薬剤師資格は取得できない。このような考えで板挟みになってしまった私が思い出したのは、津南中等在学時、大学合格の報告をしたときにある先生からいただいた「大学で頑張れるがどうかで将来は変わる」という言葉でした。この言葉で、まだどちらの夢も諦めきれない私は、薬剤師資格を取れる薬学科に進み、なおかつ企業との共同研究も行っている研究室に所属して研究も熱心に行うことで、どちらも捨てず両方とも目指すことを決意しました。

私にはあと三年大学生活が残っています。この期間は研究や薬剤師資格の

ための実習などがメインになり、とても忙しくなります。自分に負けそうになる時もあるかと思いますが、先生の言葉と進路選択をした時の決意を思い出し、「夢の実現」のために頑張りたいと思います。



## 初心を忘れずに

五期生  
石川実結希

津南中等教育学校を卒業して、看護学校に進学した私は、今年の三月で看護学校も卒業となる。

私が看護師を志したのは中学生の時の職場体験である。中等からほど近くの津南病院で職場体験をして、より夢が具体的になった気がした。実家が診療所だったこともあり、今まで病院に受診したことがなかった。そのため、初めて病院の中の病棟まで見学することができてとても充実した体験となったことを覚えている。

また、看護学校に入って実習で初めて患者と接した時の感覚は今でも忘れないだろう。どう接すればいいかわからない焦りや不安、どうしたら患者のためになるのか少ない頭をフル回転させて必死に考えたケア。初めて経験した数々の困難や達成感を忘れずにこれからも過ごしていきたい。

看護学校を卒業後は、地元新潟に就職する。三年間で学んだ知識や技術を活かして、これまで接した患者との経験を精一杯努力していきたい。



# スポーツ ツーリズムと 地域活性化

六期生  
風巻  
光

二〇二〇年に東京五輪があることをはじめとし、今日日本のスポーツは熱いです。先日もテニスの全豪オープンにて大坂なおみ選手が優勝されました。今やスポーツの社会的影響力は大きく、政治、経済、文化的に意義、価値を持ちます。そこでこれからの日本のスポーツツーリズムについて話します。

マーケティングによる地域イノベーションの方法で私が着目しているのがスポーツツーリズムです。ツーリズムとは継続のない日常生活圏外でのレジャー、ビジネスです。日本のポテンシャルは高く季節、場所などそのレガシーは大きいですが、しかしスポーツインフラの不足などからそれは低調化しています。これを打破するためにも来年の東京五輪に向けた持続可能な開発目標達成を成し、世界規模のスポーツイベントで社会的インパクトを与え国内外問わずツーリストに満足してもらう必要があります。これは首都圏だけでなく多くの地方でなされなければいけません。そのためにも地方の公共団体、

スポーツ団体、企業は地域連携、協働によるスポーツコミッションの設立と受入インフラの整備を行い、この支援を中心に海外との窓口となって日本のスポーツツーリズムを推進する必要があります。これがツーリズムの発展だけでなく地域活性化にもつながります。

より豊かな日本の観光の創造のために、スポーツとツーリズムの更なる融合がこれからのカギだと私は思います。

# きっかけと迷い

七期生  
阿部  
友紀

六年間通い続けた津南中等教育学校を卒業し、私が次に決めて進んだ道はデザインの世界でした。

現在、私は長岡造形大学というデザイン大学の建築・環境デザイン学科の生徒として日々、デザインについて学んでいます。今まで知らなかったデザインの考え方や自分の良いと思うデザインを形にするための技術、知識を身に着ける毎日で、忙しいけれど楽しい充実した日々です。

私が建築デザインの道に進もうと思ったのは高校二年生後半、それまで自分がその道に進むとは思っていませんでした。きっかけは出かける直前で見えた福島の津波の映像でした。たっ



た一分ほどの映像を見て私は「自然災害に負けない、かつ面白い見た目の建築を考えたい。」そう思いました。

日常のどこに自分の進む道を示してくれるきっかけがあるか分かりません。私の場合はたまたま見たその一分の映像が今の大学進学のかきかけになり、将来の可能性を教えてくださいました。ただ私は他にもそういったきっかけを見つけ、今はまだはつきりとした夢は決めていません。建築デザイン関係

がいいとは思っていませんが何になりたいか、ほんやりとしていた上に、ほかにもやりたいことがあって迷っている段階です。

けれども、私は焦らずにじっくりと夢や将来を決めていこうと思っただけです。まずは目の前のやるべきことを楽しみ、その楽しいを追求した先にある自分の本当にしたいことに向かったいこうと思います。

津南中等教育学校の生活で印象に残っていることはたくさんありますが、この度、文章を書かせていただくこととなり、何を書こうか悩んだ結果、私の経験したケガについて書かせていただくように思いました。

## ケガから 学んだこと

七期生

中沢 颯人



私の経験したケガは右膝の前十字靭帯断裂です。文字通り、靭帯を切るというケガです。私は野球部に所属していました。私が四年生の時の秋の大会の試合中のことでした。三塁ベース付近で三塁手と接触しかけ、よけようとした際、膝をグキッと叩いてしまいました。もちろん手術が必要でした。全治約1年と告げられました。

このケガのせいで多くのことに支障をきたしました。海外研修も膝がグラつかないための金属板付きのサポーターをつけての参加でした。そのため、当時手術後で腕にボルトを仕込まれていた担任とともに、空港の金属探知機のゲートにビビりまくりました。

しかし、どんなことから何かしら学ぶことがあるものです。ケガから学ぶこと、それは当然ケガしても良いことなんて一つも無いということでした。では、なぜケガしたのでしょうか。運が悪かったというのもあるかもしれませんが、しかし、私は準備不足だったと考えます。大事な試合に向けた身体的準備、精神的準備が足りていなかったのだと思います。よって、このケガから最終的に学ばされたものは準備の大切さです。これは日々の生活にも活かれます。テストで良い点を取るためにもテスト勉強という準備が必要です。皆さんも今一度自分の準備が足りているか確認してみたいかがでしょうか。

## 第7回同窓会総会報告書

去る2018年8月11日(土)、第7回目の津南中等教育学校同窓会総会が開かれました。今年度は、津南中等応接室にて、5名の会員の皆様にご出席いただきました。同窓会及び母校の発展のために皆様と意見を交わした結果を報告させていただきます。

第1号議案【平成29年度 津南中等教育学校同窓会 活動報告】

第2号議案【平成30年度 津南中等教育学校同窓会 活動計画(案)】

第3号議案【平成29年度 津南中等教育学校同窓会 会計決算報告及び監査報告】

第4号議案【平成30年度 津南中等教育学校同窓会 会計予算(案)】

第5号議案【津南中等教育学校同窓会一部役員続投及び新規役員入会】

→会則第14条の規定について、今年度任期2年目にあたるのは2期生、4期生、6期生の役員である

第6号議案【その他】

- 3年連続の入学者減少に対して同窓会として、前期生が後期生に憧れを抱き、後期生が前期生を助けようとする環境があるという魅力を全卒業生が地域の方へ伝えるべきである
- ・連絡網の整理を兼ねて、第8回同窓会総会の出欠席を往復はがきで取る。なお、第8回は平成31年8月13日(火)を予定している
- ・同窓会報編集担当者は大学2年生及び3年生に相当する卒業生が行うこととする。今年度においては5期生及び6期生が行う。

⇒臨席者賛成多数により、第1号から第6号議案は可決された。

# 在校生の活躍(部活動大会結果等)

## 【陸上競技部】

### 前期生

#### 都市大会

〈男子〉砲丸投 第2位 10m 35 丸山由紀也  
 〈女子〉100m 第3位 14秒 07 柳美 優  
 第5位 14秒 18 丸山弥鈴  
 〈女子〉200m 第2位 28秒 43 丸山弥鈴  
 第3位 28秒 48 樋口春香  
 〈女子〉4×100mR 第1位 53秒 56

大塚麻由・柳美優・藤野美咲・丸山弥鈴  
 〈女子〉1年4×100mR 第4位 1分2秒 55

樋口実夏・小野塚美羽・富井心菜・長井ひなた  
 〈女子〉走高跳 第1位 1m 35 小西愛咲  
 第2位 1m 30 柳 柚季  
 〈女子〉走幅跳 第3位 4m 43 樋口春香  
 第5位 4m 27 柳 美優

#### 中越地区大会

〈男子〉砲丸投 第3位 10m 86 丸山由紀也  
 〈女子〉走高跳 第7位 1m 40 小西愛咲

#### 四市二郡新人大会

〈女子〉200m 第6位 29秒 02 丸山弥鈴

### 後期生

#### 春季上中越地区大会

〈男子〉100m 第1位 10秒 70 桑原優斗  
 〈男子〉200m 第1位 21秒 81 桑原優斗  
 〈男子〉砲丸投 第1位 12m 86 丸山翔大  
 〈女子〉三段跳 第6位 9m 95 福原莉子

#### 県総体

〈男子〉100m 第2位 10秒 82 桑原優斗  
 〈男子〉200m 第2位 21秒 44 桑原優斗  
 〈男子〉砲丸投 第3位 13m 35 丸山翔大

#### 北信越大会

〈男子〉100m 第2位 10秒 60 桑原優斗  
 〈男子〉200m 第2位 21秒 52 桑原優斗  
 〈男子〉砲丸投 第8位 12m 92 丸山翔大

#### 全国総体

〈男子〉100m 予選3着 10秒 77 桑原優斗  
 〈男子〉200m 予選5着 21秒 67 桑原優斗

#### 県1年生大会

〈男子〉400m 第3位 52秒 18 滝沢大進  
 〈女子〉三段跳 第1位 9m 79 福原莉子

#### 秋季上中越地区大会

〈男子〉砲丸投 第1位 13m 22 丸山翔大  
 〈男子〉砲丸投 第8位 10m 30 福崎広大  
 〈女子〉走幅跳 第6位 4m 69 福原莉子  
 〈女子〉三段跳 第4位 9m 63 福原莉子

#### 県選抜大会

〈男子〉砲丸投 第2位 12m 95 丸山翔大

#### 北信越新人大会

〈男子〉砲丸投 第4位 13m 44 丸山翔大

#### 国民体育大会

少年男子 100m 予選5着 10秒 92 桑原優斗  
 成年少年共通リレー 準決勝進出 桑原優斗

## 【野球部】

### 前期生

#### 十日町市・中魚沼郡大会

津南中等・下条 12-2 詰田・松代・まつのやま  
 津南中等・下条 0-15 中条

#### 十日町市・中魚沼郡新人大会

津南中等・水沢・まつのやま 5-5 十日町  
 津南中等・水沢・まつのやま 3-12 川西・下条・松代

### 後期生

#### 春季新潟県大会 準優勝

リーグ戦 津南中等 7-5 直江津中等  
 津南中等 4-12 新潟商業  
 (7回コールド)

※準優勝だったが、抽選の結果北信越出場ならず

#### 夏季選手権新潟大会 1回戦敗退

1回戦 津南中等 3-7 新潟商業  
 順位決定戦 津南中等 19-0 十日町松之山  
 (5回コールド)

#### 秋季新潟県大会 準優勝

リーグ戦 津南中等 26-0 十日町松之山  
 (5回コールド)

津南中等 2-3 直江津中等

#### 秋季北信越大会(富山県) 1回戦敗退

津南中等 1-2 上田  
 (9回サヨナラ負け)

## 【サッカー部】

### 前期生

#### 都市大会 3位

1回戦 津南中等 0-2 大和中  
 3位決定戦 津南中等 3-1 塩沢中

#### 都市新人大会 2位

第1試合 津南中等 1-1 六日町中  
 第2試合 津南中等 0-6 大和中

#### 中越地区新人大会

第1試合 津南中等 0-6 長岡大島中  
 第2試合 津南中等 0-7 三条第三中  
 第3試合 津南中等 1-1 (PK 4-2) 長岡南中

### 後期生

#### 新潟県U-18サッカーリーグ グループ6位

津南中等 0-4 糸魚川  
 津南中等 0-0 直江津中等  
 津南中等 1-2 長岡農業  
 津南中等 4-1 長岡商業  
 津南中等 2-1 高田商業  
 津南中等 2-4 小出  
 津南中等 0-3 六日町

#### 春季地区大会 2回戦敗退

1回戦 津南中等 4-1 国際情報  
 2回戦 津南中等 0-14 長岡向陵

#### 高校サッカー選手権大会新潟県大会 1回戦敗退

1回戦 津南中等 1-1 (延長0-2) 中条

#### 秋季地区大会 2回戦敗退

1回戦 津南中等 1-1 (PK 4-2) 見附  
 2回戦 津南中等 0-7 長岡向陵

## 【卓球部】

### 前期生

#### 都市大会

男子団体予選リーグ敗退  
 女子団体 3位  
 男子個人 1回戦敗退  
 女子個人 ベスト16 桑原由妃・鈴木慧美・永井 彩

#### 都市カデット卓球大会

中学1年以下女子の部 2位 荒木千雪

#### 県カデット卓球大会

中学1年以下女子の部  
 2回戦敗退 荒木千雪

#### 都市新人大会

男子団体 予選リーグ敗退  
 女子団体 5位  
 男子個人 1回戦敗退  
 女子個人 ベスト16 宮澤心音

#### 中越地区新人卓球大会

女子団体 1回戦敗退  
 女子1年 個人ベスト32 荒木千雪

#### 【県新人卓球大会】

女子1年 個人2回戦敗退 荒木千雪

### 後期生

#### 春季魚沼地区高校卓球大会

男子団体 1回戦敗退  
 女子団体 1回戦敗退

#### 春季中越地区高校卓球大会

男子団体 1回戦敗退  
 女子団体 2回戦敗退  
 男子個人 1・2回戦敗退  
 女子個人 ベスト8 増田美海

#### 県総体

女子個人 1回戦敗退 増田美海

#### 県高校1年生大会

女子個人 ベスト32 増田美海

#### 秋季中越地区大会

男子団体 2回戦敗退  
 女子団体 7位  
 女子個人 ベスト16 増田美海  
 女子個人 ベスト32 古澤向日葵

#### 【県高等学校選抜大会】

女子団体 増田美海・古澤向日葵  
 女子個人 (海外研修のため出場辞退)

## 【バレーボール部】

### 前期生

#### 都市大会 4位(参加校9校)

予選リーグ(2位通過)  
 対 津南中 2-1  
 対 下条中 1-2

#### 決勝トーナメント

1回戦 対 水沢中 2-0  
 準々決勝 対 十日町南中 0-2  
 順位決定戦 対 中条中 0-2

#### 都市新人戦 優勝(参加校9校)

1回戦 シード  
 2回戦 対 中条中 2-0  
 準決勝 対 十日町南中 2-0  
 決勝戦 対 下条中 2-0

#### 中越新人戦

対 与板中 2-0  
 対 分水中 0-2

#### 都市一年生大会

十日町南・津南中等(合同チーム)

#### 予選リーグ(2位通過)

決勝トーナメント  
 1回戦 対 水沢中 2-0  
 準決勝 対 十日町 2-0  
 決勝 対 川西 2-0

### 後期生

#### 春季魚沼大会

3位(参加校8校)

#### 春季地区大会

津南中等 0-2 小出

#### 県総体

津南中等 2-0 万代  
 津南中等 0-2 関根学園

#### 選手権大会中越地区予選会

津南中等 2-0 長岡向陵

#### 選手権大会新潟県予選会

津南中等 0-2 高田北城

#### 秋季地区大会

津南中等 0-2 小千谷

#### 小林杯

津南中等 0-2 三条東

#### 魚沼市長杯 2位(参加校8校)

## 【吹奏楽部】

#### 第59回新潟県吹奏楽コンクール

高等学校Bの部 銅賞

#### 第42回新潟県アンサンブルコンテスト

高等学校の部 木管5重奏 銅賞

## 【アート部】

#### 第1回学校体育着プリントデザインコンクール

デザイン画部門 入選

#### 吉楽理名

#### 第9回1129トンボアイデア・デザインコンクール

デザイン画部門 優秀賞 丸山流奈

## 【科学部】

アマチュア無線国家試験3級合格 2名  
 アマチュア無線国家試験4級合格 3名